

今週のお祈り

聖霊降臨後第11主日(特定13)特禱

憐れみ深い全能の神よ、み民がまことと賛美の礼拝を献げられるのは、ただあなたの恵みによります。どうかこの世において忠実に主に仕え、ひたすら主の約束を望み、ついにみ前に至ることができますように、主イエス・キリストのいさおによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 日ちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 210

発行日
2024年
8月4日

すさまじい暑さ、そして夕方になると雷や大雨など変わりやすいお天気が続いています。7月下旬の東京教区SSN合同こどもキャンプ。お天気にも恵まれ、楽しい思い出とともに無事行われました。感謝!

今週の聖書 ヨハネによる福音書 6:24-35

24 群衆は、イエスも弟子たちもそこにいないと知ると、自分たちもそれらの小舟に乗り、イエスを捜してカファルナウムに来た。25 そして、湖の向こう岸でイエスを見つけると、「先生、いつ、ここにお出でになったのですか」と言った。26 イエスは答えて言われた。「よくよく言っておく。あなたがたが私を捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからだ。27 朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもとどまっ



聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

「神さまに祝福され、キリストの恵みと平和を生きること」は、私たちの願いであり、祈りです。「幸い」は、イエスさまによって、すべての人に約束されています。その恵みを受け容れることは、信仰です。「幸い」を「もっと確かに、もっと欲しい」という要求は私たちの思いでもあります。パンの奇跡の出来事を自の当りにしても人々は神の業をまだ認めることができませんでした。福音は、私たちの信仰と生き方に問いかけてきます。自分の「貧しさ」を認めて受け入れ、また、愛する隣人の「貧しさ」を共に生きようとする生き方に導かれているのでしょうか。

うに、どんなしるしを行ってくださいますか。31 私たちの先祖は、荒野でマナを食べました。『天からのパンを彼らに与えて食べさせた』と書いてあるとおりで、32 すると、イエスは言われた。「よくよく言っておく。モーセが天からのパンをあなたがたに与えたのではない。私の父が天からのまことのパンをお与えになる。33 神のパンは、天から降って来て、世に命を与えるものである。34 そこで、彼らが、「主よ、そのパンをいつも私たちにください」と言う

